



6月園だより

2022年6月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

4・5月で前期の各クラス懇談会にご参加いただきありがとうございました。ZOOMではありましたが、お子さんの名前の由来や家庭での様子等、伺うことができ良い時間となりました。今後も、情報共有しながら共に育て、共に育ち合っていきたいと思えます。今後も何かありましたらいつでもお声掛けください。よろしく願いいたします。

新学期も2ヵ月が経ち、子ども達はすっかり環境にも慣れて、好きな遊びをじっくり楽しむ姿が見られるようになりました。そんな中、新しいお友だちは注目の的。赤ちゃんが好きな子たちは園庭に出るとまっ先にひよこ組の前に行き、扉に顔を押し付けて中をのぞいています。「あのこはだれ?」「かわいいね。みてみて」と観察しています。異年齢の関りも増えてきて、小さい子の手を引いて、一緒に木の実集めを楽しんだり、登り棒の登り方を教え、支えてあげたりと、クラスを越えた関りが見られています。

この時期は蒸し暑かったり、雨が降り寒かったりと気温の変化も大きくなります。衛生面でも気になる時期になりますので、気持ちよく健康に過ごせるように気を付けていきたいと思えます。

☆6月の予定☆

- 1日(水) 避難訓練
- 2日(木) 幼児身体計測
- 3日(金) 乳児身体計測
- 6日(月) 危機管理訓練(野方警察署による)
- 9日(木) 夏前健診(幼児)・0歳児健診
- 10日(金) サッカー指導(ゆり組)
- 16日(木) プラネタリウム(ゆり組)
- 23日(木) 夏前健診(乳児)・0歳児健診
- 30日(木) 歯のおはなし(3・4・5歳児)

※13日・27日の各月曜日、英語であそぼう
(幼児組)

☆7月の主な予定☆

- 1日(金) 避難訓練
- 5日(火) 幼児身体計測
- 6日(水) 乳児身体計測
- 7日(木) 七夕
- 14日(木) 0歳児健診
- 22日(金) 夏まつり
- 28日(木) 0歳児健診

※11日・25日の各月曜日、英語であそぼう
(幼児組)



☆お知らせ・お願い☆

- ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。
- 感染拡大防止の観点から引き続き、玄関先でのアルコール消毒(大人)と、登園後すぐのお子さまの手洗いをお願いいたします。
- 衣替えの季節となりました。薄手の服に入れ替えをお願いいたします。
- 6/6(月)は危機管理訓練を行います。野方警察署の方が不審者に扮して園に侵入します。子ども達(幼児組)への講話もしていただく予定です。
- 6/7(火)6/8(水)は公開保育があります。地域の幼稚園、小学校から先生方が当園を見にきます。廊下や園庭からの参観となり子ども達との接触はありません。ご理解の程、よろしくお願いいたします。
- 6/9(木)は幼児組(3・4・5歳)の夏前健診、6/23(木)は乳児組(0・1・2歳)の夏前健診があります。なるべくお休みのないようご協力をよろしくお願いいたします。
- 雨のため延期になりました環境学習は秋以降に実施予定です。日程が決まり次第お知らせいたします。

体を賢く育てよう



感性豊かな体、物作りが大好きな体、体を動かすことが好きな体
—それが好奇心や学力も伸ばす

最近、ほとんど体を動かすチャンスがなく、エネルギーがあり余っている子どもがいます。「危なくて歩かせられません」と車以外では移動したことがない、という子どもがいます。いまの時代は、意識しないと体がうまく育たない時代ですから、ひと時代前の環境で子育てするというくらいのもつりて体をしっかり使わせてやってください。具体的にいうと、「年齢×km数」くらいは毎日歩かせましょう。1歳児なら1km歩けますし、3歳児なら3kmは歩けます。

こうして「じょうぶな体をつくること」と同時に、「感性豊かな体」も育ててやってください。

たとえば、散歩しながら草花にさわったり、川の上流へ行って水の冷たさを感じたり、道具を使って物を作ってみたり。そうやって体を使ってさまざまな体験をしていると、不思議だなあと感じる好奇心が豊かになっていきます。そして、あれにさわってみたい、こんなものを作ってみたいと思う気持ちをそのまま伸ばしてやれば、それは学力にもつながりますし、豊かな感性にもつながっていきます。

こうぜんせつ 「向善説」に基づいた子育てを



人は生まれつき善に向かう心を持っている

赤ちゃんは、実はとても有能です。たとえば臭覚は大人の40~50倍もあり、「生まれたばかりの赤ちゃんは、ほとんど目が見えていない」というのも事実と違い、一定の距離は見えていることがわかっています。また、五感を全部いっしょに使って全身で感じるような、不思議な力を持っています。

最近の研究では、生まれながらに善に向かう心、「道徳心」を持っているということもわかりました。「じゃまされたいやだ」「応援してもらえたらうれしい」という気持ちは赤ちゃんにもあるのです。だから思いやりのある、やさしい子に育てなければ子どもの気持ちに共感してあげることがたいせつです。たとえば、ものを投げたときに、「ダメ!」ではなく、「投げたかったんだね。危ないからこっちでやろうね」と言ってもらえれば、気持ちをくんでもらえたとうれしくなり、人の気持ちをわかる力になっていきます。逆に、暴力を受けたり、共感してもらえないことは、「攻撃されている」と感じさせてしまいます。

道徳心と同時に、子どもは自分を守るための「攻撃性」も生まれつき持っています。これを「どっちが早い競争しよう」「もっと大きなものを作ってみよう」といった、文化的なものに変えていきましょう。それが健全な向上心や自尊心、よりよいものへのあこがれを育てていきます。

善に向かっている子どもに必要なのは、「共感」です。性善説ではなく、「向善説」に基づいた子育てをしていきましょう。

主婦の友社 0~3才個性を伸ばす能力を育てる
東京大学教授 汐見 稔幸